

平成 24 年度 事 業 報 告

本連合会は、平成 24 年 4 月 1 日をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益財団法人の認定に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第 33 条第 1 項の規程により、一般社団法人として設立登記が完了し、新しい組織としてスタートした。

1. 会 議

(1) 総 会

定款には次のように定められている。総会は全ての正会員をもって構成し、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律上の社員総会とする。本総会において本会事業を組織的、計画的、発展的に遂行するための最高議決機関として、定時総会として年 1 回 6 月に開催するほか、必要がある場合には臨時総会を開催する。本年度は以下のとおり開催した。

定時総会 (24.6.23) 東京ガーデンパレス

総会に先だって、全国から寄せられた東日本大震災に係る義援金平成 23 年度最終配分が、会長より福島県高 P 連会長に贈呈された。

[議 事]

- ①第 1 号議案 平成 23 年度事業報告
- ②第 2 号議案 平成 23 年度収支計算書・平成 23 年度監査報告
- ③第 3 号議案 一般社団法人全国高等学校 P T A 連合会会費規程変更について
- ④第 4 号議案 一般社団法人全国高等学校 P T A 連合会定款施行細則の一部変更について
- ⑤第 5 号議案 第 61 回全国高等学校 P T A 連合会大会北海道大会決算報告
- ⑥第 6 号議案 平成 24 年度役員選任
- ⑦第 7 号議案 会長、副会長、専務理事、常務理事の選任
会長選出地区補充理事の選任、各種委員会の委員長委嘱、各種委員会委員の委嘱、顧問・相談役の委嘱

総会においてすべての議案が可決承認され、平成 25 年度より会費の値上げが決定した。

(2) 理 事 会

理事会は、業務を執行するための決定、総会に附議すべき事項、役員を選定及び解職についての事項、総会から委任された事項、暫定予算及び補正予算についての事項、諸規程に関する事項、他団体に関する事項、その他この法人の業務に必要と認めた事項について決定する権限

を与えられている。会長が年間6回招集する。

なお、理事の定数は23名であったが、組織等検討委員会の諮問を受けて各地区1名と決定し

たことにより、24年度第3回理事会から14名となった。本年度は以下のとおり開催した。

第1回理事会（24.5.13） 東京ガーデンパレス

<協議事項>

第1号議案 平成23年度事業報告案・平成23年度決算報告案について
平成23年度監査報告について

第2号議案 一般社団法人全高P連定款施行細則の一部変更案について

第3号議案 平成24年度会長・理事会推薦幹事の推薦について

第4号議案 一般社団法人全国高等学校PTA連合会会費規程案について

第5号議案 東日本大震災に係る義援金について

第6号議案 教育懇談会等の会費徴収について

<報告事項>

① 一般社団法人移行登記及び24年度事業・予算の確認手続きについて

② 平成24年度総会の運営について

③ 委員会等確認事項について

*健全育成委員会から、特に、「バイクの3ない運動」について、第57回全国大会埼玉大会の精神を踏襲し引き続き推進するが、今後は「自転車・バイク・歩行者のマナーアップ運動」(別紙資料)として取り組み、和歌山大会においては宣言文としないことが報告され承認された。

④ 日本宝くじ協会「公益法人助成事業」の決定について

第2回理事会（24.6.23） 東京ガーデンパレス

<協議事項>

第1号議案 平成24年度定時総会議案について

第2号議案 平成24年度定時総会の進め方について

第3号議案 平成24年度役員候補者の選出について

第4号議案 東日本大震災に係る義援金の募集活動について

<報告事項>

① 第1回全国会長・事務局長研修会前日の教育懇談会について

② 祝賀会の運営について

第3回理事会（24.6.23） 東京ガーデンパレス

<協議事項>

第1号議案 平成24年度会長候補者選出

第2号議案 会長選出地区補充理事の選任

*本議案が承認されて24年度理事の定数が14名で確定した。

第3号議案 平成24年度副会長候補者指名

第4号議案 平成24年度専務理事候補者指名

第5号議案 平成24年度常務理事候補者指名

- 第 6 号議案 平成 24 年度常置委員会委員長候補者指名
- 第 7 号議案 各委員会構成の確認及び委員の選出
- 第 8 号議案 平成 24 年度賠償責任補償制度委員会・各委員長候補者指名
- 第 9 号議案 顧問、相談役の決定

第 4 回理事会 (24.7.8) 本部事務局

<協議事項>

- 第 1 号議案 第 62 回全国大会和歌山大会表彰者の選考について
- 第 2 号議案 和歌山大会各分科会における担当理事の決定について
- 第 3 号議案 第 1 回会長・事務局長研修会について
- 第 4 号議案 旅費規程について
- 第 5 号議案 全高 P 連会報タイトルについて

<報告事項>

- ① 常置委員会報告

第 5 回理事会 (24.9.22) ホテルルビノ京都堀川

<協議事項>

- 第 1 号議案 第 62 回全国大会和歌山大会の報告について
- 第 2 号議案 第 63 回全国大会山口大会の対応について
- 第 3 号議案 全国大会開催地 岩手県以後の開催地について
- 第 4 号議案 本連合会の略称について

***これまでの略称「全高 P 連」から 25 年度以降は「全国高 P 連」とすることを決定した。**

- 第 5 号議案 第 1 回全国会長・事務局長研修会の運営について

<報告事項>

- ① 各種委員会報告
- ② 和歌山大会後の動き

第 6 回理事会 (25.2.9) 東京ガーデンパレス

<協議事項>

- 第 1 号議案 平成 24 年度補正予算 (案) について
- 第 2 号議案 平成 25 年度事業計画 (案) 並びに収支予算について
- 第 3 号議案 定款細則ほか諸規程の改訂について
- 第 4 号議案 平成 25 年度第 63 回全国大会山口大会の開催日程について
- 第 5 号議案 全国大会開催地 岩手県以後の開催地について
- 第 6 号議案 会報の無償化に伴う追加部数の徴収について
- 第 7 号議案 第 2 回全国会長・事務局長研修会の運営について
- その他
 - 東日本大震災に係る義援金について
 - 事務局職員の交代について

<報告事項>

- ① 平成 24 年度各委員会報告
- ② 第 63 回全国大会山口大会について

2. 高等学校PTA活動の質的向上に資する研究大会、講演会、研修会の開催

(1) 全国大会

第62回全国高等学校PTA連合会大会和歌山大会が、青少年の健全育成、学校教育・家庭教育の振興、高等学校PTA活動の質的向上及び情報の共有化を図るため、以下のとおり開催された。

8月22日(水)～24日(金)の3日間、和歌山市内の和歌山ビッグホエール・同武道体育センターをメイン会場と、和歌山ビッグウエーブ、和歌山市民会館、田辺市にある紀南文化会館を分科会会場として開催された。有料大会参加者は10,025名。

<大会趣旨>

近所のおばさんに朝夕声をかけられたり、よそのおじさんに叱られたり、今思えば、私たちが子どもの頃はいつも誰かが見てくれていました。行き過ぎた個人主義・格差社会・・・自分を見ているのは監視という名のカメラだけ。世に物や情報が溢れた代償として、私たちは『人とのつながり』という大切なものを失いつつあるのではないのでしょうか？

現在、物質的に豊かで便利な環境に甘んじながらも、このままではいけないと多くの人々が感じています。私たちの大事な子どもたちの環境をもっともっと温かい血の通ったものにしたい、そのためには、家庭や学校だけでなく、地域や公共の力は不可欠です。地域の人たちにも、子どもたちの元気な姿は希望となります。子どもも大人も共に育つ社会をめざして、私たちにできること、私たちがやるべきことは何なのか。真剣に取り組んで行く場にしたいと願っています。(大会要項から)

<大会テーマ>

和をもって響き合え！

～つれもて広がる 共有の輪～

<各分科会>

第1分科会 学校教育とPTA： 社会性を身につけ「生きる力」を育むPTA活動

第2分科会 進路指導とPTA： 一人ひとりを大切にする進路指導とPTA活動

第3分科会 生徒指導とPTA： 規範意識の確立と命の尊さを伝えるPTA活動

第4分科会 家庭教育とPTA： もう一度考えよう家庭教育の役割とPTA活動

特別第1分科会 防災教育とPTA

自助・共助を育む防災教育の推進

特別第2分科会 地域コミュニティとPTA

熟議「子どもも大人も、共に育ち、育て合うPTA活動」

<基調講演>

演 題：～「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復の宇宙旅行、その7年間の歩み～

講師：宇宙航空研究開発機構教授

川口 淳一郎 氏

講 演：はやぶさと和歌山大学の関わり

講師：和歌山大学観光学部教授

尾久土 正己 氏

<高校生による発表>

アトラクション マンドリン演奏・合唱・吹奏楽・軽音楽・少林寺演武 ほか

(2) 地区大会 (9 地区)

各地区高等学校 PTA 活動を推進するために、各地区高等学校 PTA 会員が一堂に会して北海道から九州までの 9 地区で、6 月から 7 月にかけて研究大会を開催した。

| | | |
|------------------------|------------------------|------|
| ・北海道地区高等学校 PTA 連合会大会 | 6 月 15 日(金)・16 日(土) | 旭川市 |
| ・東北地区高等学校 PTA 連合会大会 | 7 月 12 日(木)・13 日(金) | 福島市 |
| ・関東地区高等学校 PTA 連合会大会 | 7 月 6 日(金)・7 日(土) | 千葉市 |
| ・東京地区高等学校 PTA 連合会大会 | 7 月 14 日(土) | 千代田区 |
| ・北信越地区高等学校 PTA 連合会大会 | 7 月 6 日(金)・7 日(土) | 富山市 |
| ・東海地区高等学校 PTA 連合会大会 | 6 月 15 日(金) | 津市 |
| ・近畿地区高等学校 PTA 連合会大会 | 6 月 30 日(土)・7 月 1 日(日) | 神戸市 |
| ・中国・四国地区高等学校 PTA 連合会大会 | 7 月 13 日(金) | 徳島市 |
| ・九州地区高等学校 PTA 連合会大会 | 6 月 21 日(木)・22 日(金) | 福岡市 |

(3) 全国会長・事務局長研修会

全国会長・事務局長研修会は、昨年度まで全国会長・事務局長会議の名称で開催されていた。定款にはこの会議について定めがないことから、本年度は研修会として位置付け、喫緊の課題について研修することとした。本年度の開催は以下のとおり。

第 1 回全国会長・事務局長研修会 (23.9.22/23) 京都 ホテルルビノ京都堀川

< 講演 >

千葉大学教養学部教授 藤川大祐氏

テーマ：青少年のスマートフォン利用について

< 報告 >

- ① 第 62 回全国大会和歌山大会の報告
- ② 第 63 回全国大会山口大会の進捗状況について
- ③ 各委員会報告
- ④ 賠償責任補償制度事故概況・支払状況等について

< その他 >

全国高等学校安全互助会連絡協議会の説明 (同連絡協議会 會田会長)

第 2 回全国会長・事務局長研修会 (25.2.9) 東京ガーデンパレス

< 講話 >

- ① 総務省総合通信基盤局電気通信事業部消費者行政課

課長 玉田康人氏

テーマ「スマートフォン等に関する総務省の周知啓発活動について」

- ② モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

事務局長 吉岡良平氏

< 報告 >

(1) 理事会報告

- ① 平成 24 年度補正予算について
- ② 平成 25 年度事業計画について
- ③ 平成 25 年度予算について
- ④ 諸規程の見直しについて
- ⑤ 第 63 回全国大会山口大会について
- ⑥ その他（東日本大震災義援金、薬物乱用防止啓発事業用横断幕、全国高 P 連事務局長人事）

(2) 各委員会報告

- ① 各委員会
- ② 賠償責任補償制度事故概況・支払状況等の報告

<その他>

第 63 回全国大会山口大会

web 申し込みについて

<講 話>

- ③ 文部科学省生涯学習政策局社会教育課長 伊藤 学 司 氏
「文部科学行政について」

3. 各委員会の活動概況

別掲(・・・～・・・頁)各委員会報告を参照 ページは校正の段階で入れる

4. 青少年の健全育成に資する調査研究と啓発活動

(1) アンケート調査による「子育て支援事業」について

事業名：「高校生の育成環境改善のための継続的実態調査」事業

新法人としてスタートするにあたり、これまで実施してきた助成による事業を見直し、本連合会の自主事業として平成 25 年度より再スタートを切ることになった。

日本の子どもたちは他の国と比較して自己肯定感が低いという OECD の調査結果について、23 年度に本連合会の調査によっても検証を行った。

今、子どもたちの意識・行動の根幹にはメディアや IT からの有害な情報の氾濫、家族関係をはじめとする社会全体の人間関係の希薄さがあるのではないかとされている。幼児期からの育成環境の変化に注意していくことが必要と思われる。

9 月に開催した健全育成委員会と協力者委員会の合同委員会において、25 年度も引き続き京都大学大学院医学研究科の協力を得て調査を実施することになった。

また、健全育成委員会の事業として、11 月から 12 月にかけて青森県高等学校 P T A 連合会と山口県高等学校 P T A 連合会が、木原雅子准教授を講師として、これまでの調査研究をふまえた報告会を開催した。

(2) 財団法人日本宝くじ協会助成事業による「薬物乱用防止パンフレット」の発行

24 年度も薬物乱用防止に関する保護者向け啓発資料として、110 万部発行した。発行を始めてからすでに 14 年目になる。文部科学省スポーツ・青少年局の専門官、(独) 国立精神・神経医療研究センター研究員、麻薬覚せい剤乱用防止センター専務理事のご協力をいただき、

本年度も最新のデータをもとに紙面の改訂を行って、よりわかりやすいパンフレットになった。これまでも隔年で各データが更新されるため、今年度版も最新の情報を提供できている。本年度版の特徴は、合法と称して売られているハーブ類の中に急性中毒症状を伴うものが含まれており、死亡事故・傷害事件が多発して社会的な問題となっていることなど、直近の情報を加えた。

このパンフレットは新入生の保護者向けであるが、授業で副教材として活用している学校もある。また、PTAによる「薬物乱用防止教室」において薬物の正しい情報を保護者間で共有する研修会が行われている。学校では毎年、高校生も保護者も1/3ずつ入れ替わるので、この冊子を継続的に作成、配布し、薬物に関する乱用防止意識を啓発していくことは大変重要である。また本年度は、一層の啓発を図る一助として薬物乱用防止啓発事業用横断幕を作成し、各都道府県市高P連に2種類配布することができた。地区大会、県大会、研修会及び学校行事等で活用してほしい。

(3) バイクに関する「3ない運動」について

本連合会は、昭和57(1982)年第32回全国大会宮城大会において「バイクの3ない運動」(免許は取らない・買わない・乗らない)の決議文を読み上げて以来、高校生の尊い命を守るための運動を続けてきた。この間、5年目毎に見直しを行ってきた。

第62回全国大会和歌山大会が5年目にあたるため、昨年より健全育成委員会を中心に「3ない運動」宣言文の取り扱いについて検討してきた。この結果を受けて、本年度から「自転車・バイク・歩行者のマナーアップ運動」を全国の単位PTA等で展開して子どもたちの命を守る運動をさらに発展させることを目指し、和歌山大会ではバイクに関する「3ない運動」だけに係る宣言文を出さなかった。

なお、バイクの「3ない運動」は埼玉大会における宣言文を踏襲し、引き続き継承していくことになった。

(4) 高校生の社会参加とボランティア活動の推進

平成23年3月11日に発生した東日本大震災による大災害に関するボランティア活動は全国的規模で高校生が多数参加している。

また、各地で集中豪雨に見舞われたり、竜巻被害にあったりなど、多くの災害に見舞われた年となり、多くの高校生がボランティア活動に参加した。

全国高P連では、引き続き東日本大震災に係る義援金を受付け、ホームページに呼びかけの記事を掲載した。

5. 広報活動の充実

(1) 「一般社団法人全国高等学校PTA連合会会報」の発行

全国高P連会報を年3回発行し、平成25年2月現在、第74号となっている。内容として、各委員会活動や、総会、会長・事務局長研修会、全国大会、地区大会の報告等を紹介した。平成19年度(58号9月1日発行)から「青春白書 全国からの便り 一輝く姿がここにある」のシリーズを掲載し、未来に羽ばたこうとひたむきに頑張っている高校生や、それを見守り導く先生・保護者の姿を紹介している。さらに、第62号から「シリーズ視点」を始めた。「視点」は現在、調査広報委員会が企画・執筆している。73号には義援金報告として配分や各県の状況、そして事務局に届いた多数の礼状等も紹介した。

また、会報をホームページにも掲載することによって、より広く、より速い、情報の伝達と共有化を図った。

(2) 電子メールの活用とホームページの活性化

平成 16 年度末よりホームページの活性化を図り、ホームページのもつ速報性、広域性、あるいは双方向性等の特徴を生かしたホームページを目指した。

まず、全国高P連のホームページに関心をもってもらうため、毎月、単位P T Aの活動をトップページで紹介してきた。この企画は一定の評価は得ているものの、今後ページづくりを検討する必要がある。その他、事業計画・活動紹介等を掲載し、順次更新している。特に、東日本大震災に対する義援金活動を継続して受付を行っていることについても広く広報できている。

課題としては、早急にホームページの運営について検討する組織を新設し、リニューアルしたい。

(3) 一般社団法人全高P連事務局インフォメーションの発行

平成 24 年度も、本部事務局の「インフォメーション」を発信し、本連合会の活動状況、事務局よりのお知らせ、関連官庁等に関する情報や資料等の情報の提供に努めた。本年度は各省庁・関係機関より届いたメールを直接各都道府県市高P連事務局に転送し、情報伝達の迅速化を優先して情報の共有を図った。

今後、連携する省庁、関連機関にはホームページが整備され充実していることから、これまでの「インフォメーション」の発行については再検討したい。

(4) その他の広報について

- | | |
|----------------------------------|------------|
| ・平成 24 年度総会資料 | 本部事務局 |
| ・第 62 回全国高等学校 P T A 連合会大会和歌山大会要項 | 和歌山大会実行委員会 |
| ・第 62 回全国高等学校 P T A 連合会大会和歌山大会会報 | 和歌山大会実行委員会 |
| ・薬物乱用防止パンフレット「うちの子に限って・・・」 | 健全育成委員会 |
| ・東日本大震災に対する義援金の募集継続（ホームページ） | 本部事務局 |

6. 団体及び個人の表彰

第 62 回全国高等学校 P T A 連合会大会和歌山大会において、P T A 活動で顕著な業績をあげた団体及び個人に表彰状を贈り顕彰を行った。また、本連合会の運営等に多大な貢献をした個人に表彰状を、全国大会開催の功労に対し個人、団体に特別感謝状を贈り、顕彰した。

- | | |
|--------------------------|----|
| ・優良 P T A 文部科学大臣表彰（団体） | 34 |
| ・第 62 回全国大会会長表彰（個人） | 68 |
| ・第 62 回全国大会会長表彰（団体） | 50 |
| ・平成 24 年度役員等表彰（個人） | 35 |
| ・第 61 回全国大会北海道大会開催功労（個人） | 1 |
| ・第 61 回全国大会北海道開催功労（団体） | 1 |

7. その他 本連合会の目的を達成するために行った事項

1) 文部科学省・厚生労働省・総務省関係

① 意見書・要請書

- ・「新規高等学校卒業予定者に対する雇用促進について」（お願い）
(厚生労働大臣宛 平成 24 年 7 月 9 日)
- ・「新規高等学校卒業予定者に対する雇用促進について」（お願い）
(文部科学大臣宛 平成 24 年 7 月 9 日)

- ・「緊急雇用創出基金事業」の継続について（お願い）
（衆参国会議員宛 平成 24 年 8 月 7 日）
- ・「緊急雇用創出基金事業」の継続について（お願い）
（厚生労働大臣宛 平成 24 年 9 月 9 日）
- ・「緊急雇用創出基金事業」の継続について（お願い）
（文部科学大臣宛 平成 24 年 10 月 31 日）
- ・「新規高等学校卒業予定者に対する雇用確保について」（お願い）
（厚生労働大臣宛 平成 24 年 10 月 16 日）
- ・「新規高等学校卒業予定者に対する雇用確保について」（お願い）
（文部科学大臣宛 平成 24 年 10 月 16 日）

② 平成 24 年度全高 P 連役員が委嘱された各種委員

- ・大学設置認可の在り方に関する検討会議（文部科学省）
- ・中央教育審議会高大接続部会（文部科学省）
- ・中央教育審議会生涯学習分科会（文部科学省）
- ・大学入学者選抜方法の改善に関する協議（文部科学省）
- ・大学入試センター試験に関する検証委員会（文部科学省）
- ・青少年の体験活動の推進に関する部会（文部科学省）
- ・全国生涯学習ネットワークフォーラム実行委員会（文部科学省）
- ・中央教育審議会中等教育分科会高等学校教育部会（文部科学省）
- ・中央教育審議会スポーツ・青少年分科会学校安全部会（文部科学省）
- ・大学入試センター試験に関する懇談会（大学入試センター）
- ・スマートフォン時代における安心・安全な利用環境の在り方に関するWG（総務省）
- ・男女共同参画推進連携会議（内閣府）
- ・子どもを見守り育てるネットワーク推進会議（文部科学省）
- ・早寝早起き朝ご飯運動会議（文部科学省）
- ・インターネット上の違法・有害情報への対応に関する検討会（総務省）
- ・青少年インターネット環境の整備等に関する検討会（内閣府）
- ・違法・有害情報対策官民実務家ラウンドテーブル（内閣府）
- ・学校施設の在り方に関する調査研究協力者会議（文部科学省）
- ・エイズ予防指針作業班委員（厚生労働省）
- ・麻しん対策推進会議（厚生労働省）

2) 連携活動をした社会教育関係団体

- ・日本 P T A 全国協議会
- ・全国国公立幼稚園 P T A 連絡協議会
- ・日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会
- ・“社会を明るくする運動”中央推進委員会（法務省）
- ・社会教育団体振興協議会
- ・青少年育成国民会議
- ・全国高等学校体育連盟
- ・全国高等学校文化連盟

- ・日本教育会
- ・日本交通安全教育普及協会
- ・青少年インターネット環境の整備等に関する検討会（内閣府）
- ・「安心ネットづくり」促進協議会
- ・「安心ネットづくり」促進協議会実務担当者会議
- ・日本修学旅行協会
- ・エネルギー環境教育情報センター運営委員会
- ・日本学校保健会
- ・古岡奨学会

3) 平成 23 年度 賛助会員

- ・ 北陸国際教育協会
 - ・ 東京海上日動火災保険株式会社
 - ・ A I U 保険会社
 - ・ 株式会社損害保険ジャパン
 - ・ 三井住友海上火災保険株式会社
 - ・ 株式会社アイエスエイ
 - ・ 株式会社スクールパートナーズグループ（高校生新聞社）
 - ・ 株式会社ジェイティビー
 - ・ 株式会社リクルート
- ほか個人賛助会員